

令和元年度
まちづくり活動
アシスト事業報告

第一回3R貝絵アートコンテスト・展示会

(令和元年8月11日～8月18日)

貝殻捨てないで！ 貝殻に絵を描いてみよう。！

NPO法人

スペースゆうとの会

副理事 霜村 一郎

はじめに

NPO法人スペースゆうとの会 紹介

私たち法人は、愛媛県宇和島市を中心とする圏域の全世代の市民に対して、宇和島市袋町商店街やつしかふえ2Fにおいて憩いの場、癒しの場、交流の場を提供しています。また、高齢者、子供そしてあらゆる障がいを抱える人々に寄り添い支える事業や地域環境問題への取り組みに関わる事業を行い、新たな地域コミュニティづくりを進め、地域共生社会の実現に寄与することを目的として日々活動を続けています。

次世代を担うこともたちから、環境アートのメッセージを全国へ

私たち法人が取り組む事業の中で、地域環境保全活動の一環として3R（リサイクル・リユース・リデュース）によるゴミの削減の普及啓発事業を行っています。

今回の3R貝絵アートコンテスト・展示会はこの3Rの考え方に基づいた地域産物（ひおうぎ貝）を活用することにより、次世代を担う小中学校の子供たちに

環境教育・美術教育を行いながら、同時に食用消費された貝殻の再利用を促し地域の廃棄物・ゴミの削減について地域住民に気づきを与えるような企画に仕上げてみました。また貝殻アートのキャンパスとなる貝殻の清掃・研磨を障がい者福祉施設の障がい者の人たちに作業をお願いすることにより、障がい者の人たちの新しい仕事を生み出すという効果も広がりを見せています。



貝絵アート



貝殻キャンパス製造作業光景

今後も、多世代にわたる様々な立場の地域住民の人たちが様々な形でこの事業やイベントに参加できるこの新しい貝絵アートの世界を市内、県内、そうして全国に広げていき、全国の人たちに海の環境問題への気づきと海の環境を守ることへのきっかけが生まれることを期待して活動を継続していきます。